

研究概要の公開原稿

研究対象：

国立がん研究センター中央病院にて 2015 年 3 月から 2015 年 6 月までの間に大腸切除術を施行した大腸癌患者のうち再発、多重癌を除いた方々を対象とします。

研究の概要：

一般的に大腸癌患者さんの術前低栄養は術後合併症、特に感染症の誘引になると報告されています。そのため、術前患者さんに対しての栄養評価はきわめて重要であり、十分に栄養状態を補正すべきであると考えられています。しかしながら、国立がん研究センター中央病院においては術前の栄養状態と術後合併症との関連について十分な調査、および検討が行われておりません。この研究は、国立がん研究センター中央病院における大腸癌手術患者さんを対象とした術前栄養状態が術後合併症に与える影響を検討します。本研究により、大腸癌術後合併症発生率を低下させる可能性があると考えております。

目的：

国立がん研究センター中央病院における大腸癌手術患者さんを対象とした術前栄養状態が術後合併症に与える影響を検討し、その内容を明らかにします。

方法：

過去の診療情報（データ）より血清アルブミン値、年齢、術前 BMI、および術式別（開腹または腹腔鏡）を収集し、合併症を発生した方々と合併症を発生しなかった方々の違いについて比較します。

個人情報に関する配慮：

閲覧する診療情報には個人情報が含まれますが、患者さん個人が特定されない方法で情報収集します。対象となる患者さんの識別は本研究専用 to 別途割り振られた研究番号を使って管理し、個人情報 that 院外に出ることはありません。患者さんからのご希望があれば、その方の診療情報は研究に利用しないようにしますので、いつでも次の連絡先まで申し出てください。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立がん研究センター中央病院 栄養管理室 三浦 慎

東京都中央区築地 5-1-1 TEL：03-3542-2511 内線:3048

FAX：03-3547-5224

E-mail: makmiura@ncc.go.jp